

西会津町介護センター

〈西会津町居宅介護支援事業所〉

～居宅介護支援事業所 合同勉強会～

居宅介護支援事業所は要介護1～5と認定された方に対して介護等の相談や支援を行う事業所です。現在は6名のケアマネージャーが在籍しており、利用者様やそのご家族が在宅で安心して生活できるよう支援しています。

ケアマネージャーとしての専門性や資質の向上を図るために、町外の居宅介護支援事業所との勉強会を年2回開催しており、今回は柳津町居宅介護支援事業所のケアマネージャーの皆さんと実施いたしました。日頃悩んでいることを皆で共有しながら、課題解決に向けた話し合いと共に、双方の情報共有をしながら、他機関のケアマネージャーとの連携を深めています。



〈西会津町訪問介護事業所〉

～登録ヘルパー研修会～

訪問介護事業所には現在21名の登録ヘルパーが在籍しております。月に一度、登録ヘルパー向けの研修会を開催し、介護に関する知識や技術向上を目的として実施しています。

今回は、町の管理栄養士に講師を依頼し、季節の食材を使用した献立を調理しました。研修を通して登録ヘルパー自身が栄養に関する知識を更に深めるとともに、適切な調理方法や献立の立て方を学んでいます。今後も様々な研修会を実施し、サービスの向上に努めています。



西会津町こゆりこども園

○観劇会

12月10日に、「劇団すぎのこ」さんが来園し、観劇会が開催されました。

観劇会では、「ねこと毛糸」と「たのきゅうのうわばみたいじ」の2本の人形劇を鑑賞しました。リアルで可愛い猫の動きや迫力ある芝居に子どもたちの目は釘付けで、前のめりになって見たり、声を出して笑つたりしながら物語の世界を存分に楽しみました。

観劇会の最後には、登場した人形たちのお見送りもあり、興味津々に触れ合い、子どもたちの豊かな感性を育て、想像力を高める良い機会となりました。



○お知らせ

西会津工業会様より、町へ子育て支援のために頂いた寄付金を活用し、こども園に防犯カメラ2台を設置いたしました。



特別養護老人ホーム さゆりの園

●「おうちに帰ろうキャンペーン」

さゆりの園に入所されている方が喜んで頂ける外出支援を個別に計画しています。

実際に「家に帰って仏さまに手を合わせたい」、「久しぶりに実家に帰りたい」等、ご本人やご家族の思いを聴き、希望に沿えるような外出や帰省を実施しています。

また暖かくなったら、利用者やご家族の方に希望を伺いながら企画していきたいと思います。



久しぶりのご自宅で、仏壇に手を合わせていました。



この日は天気も良く、外出日和でした。



息子さんとゆっくりご自宅での時間を過ごされていました。



ご姉妹、ご親族の方々とパシャリ。皆さんの笑顔が素敵です。

小正月「団子さし」

各事業所で小正月の伝統行事「団子さし」を行いました。

今年一年が良い年になるように願いながら、団子を丸め飾り付けを行いました。



高陽の里



憩の森



高陽の里



高陽の里



こども園



こども園

くず湯 ご寄付

12月24日、西会津町商工会女性部の皆様が法人へ来所され、本年もくす湯のご寄付をいただきました。



利用者さんにおいしく食べ
ていただきました。



にしあいづ福祉会 奨学金制度のご案内

当法人が運営する施設等で就職を希望する後継者を育成するため
に、「社会福祉法人にしあいづ福祉社会奨学金貸与規程」を定め、介護・
看護・相談員等の職種に必要な知識・技能等を習得することを目指
して修学される方に、必要な資金を貸与しています。

また、当法人に採用後、貸与期間に応じて規程の勤務年数を満たした場合には、奨学金の返済を全額免除します。

曾与対象者

以下の①～②いずれかに該当する方で、③を満たす方

- ①介護福祉士・看護師・准看護師の資格を取得できる方
②大学・短大において、社会福祉学を専攻する方
③卒業後に、当法人の常勤職員として交替勤務(夜勤含む)ができる方

奨学金制度に関する詳細は、当法人のホームページにも掲載されています。

【問い合わせ先】にしあいづ福祉会 Tel.0241-45-2921(法人本部)

奉仕活動

昨年 11 月 28 日に東北電力株式会社阿賀野川ダム管理所の職員様が来所されました。

例年実施していただき
ております奉仕活動を
行つていただきました。

普段できない天井の蛍光灯清掃や細かな所まで掃除して下さいました。

改めてお礼申し上げます。



皆様の善意・ご奉仕に
心より感謝申し上げます

ありがとうございました

令和6年10月1日～
12月31
谷川スミ二様
ツトケアボランティア
会津高校様
仕作業ボランティア
崎嶋節子様
聴ボランティア

にしあいづ福祉会では、年3回の広報誌を発行しております。今回の福祉会広報誌(68号)は令和7年になって最初の発行となり、編集中はちょうど年末年始です。1年が過ぎる早さに驚きつつ、「光陰矢の如し」とひよことわざが頭に浮かびました。月日が過ぎるのは矢のように早いという意味で、同時に毎日の時間を大切に過ごしましようという教訓も込められています。令和7年も一日一日を大切に過ごして成長を目指していくうと、気持ちが引き締まりました。今年も広報誌では「にしあいづ福祉会」のより良いサービスに向けた取り組みをお届けしたいと思います。これからも宜しくお願ひ致します。

編集後記

にしあじづ福社会では現在、看護職員等を募集しております。
詳細につきましては、法人ホームページ
ページをご確認ください。
【お問い合わせ先】



社会福祉法人
にしあいづ福祉会
インスタグラム

お知らせ